

しみず ゆう
清水 悠 准教授

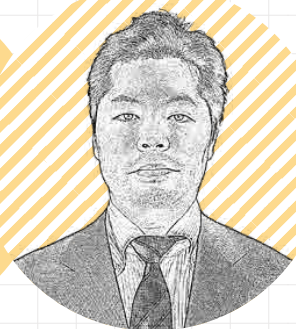
早稲田大学大学院
法学研究科博士後期課程民事法学専攻修了
博士(法学・早稲田大学)

YU SHIMIZU

専門分野



ローマ法/民事法学/
西洋法制史



Q 担当科目を教えてください



民法

あらゆる民事法分野の理解に不可欠な土台を構成するのが民法です。民法は社会生活上で起こるトラブルを民事的に解決する基礎となっています。民法の先祖は古代ローマの私法にまでさかのぼり、長い時間をかけて培われてきた人類の英知が結晶したものです。

くらしと法律

法学と呼ばれる分野は、古くは古代ローマにおいて誕生しました。その後、西洋中世以来の大学教育や哲学の影響や近代市民革命など、様々な変遷を経て法学は発展してきました。この授業では、身近な法的问题を題材に、法学の基礎とトラブルの解決方法を学びます。

演習(ゼミナール)：民法に関連することなら何でも議論

ゼミで扱うテーマは、民法に関連するものであるかぎり学生の自由に任されており、何よりも学生の自主性を尊重します。学生に扱うテーマを決めてもらい、それぞれの担当回に教員やゼミに所属する学生の前で報告を行ってもらい、そのテーマの議論を行います。

Q 研究のテーマは何ですか？



古典期ローマ法における使用取得(usucapio)の機能の解明、及び使用取得と不当利得返還請求(condictio)との関係の考察

古代ローマでは、現代民法の取得時効の先祖にあたる使用取得という制度がありました。他人の所有物を取引行為により占有して長期間(動産1年・不動産2年)経過した場合、その物の所有権を取得できました。その使用取得がどう機能していたか研究しています。

Let's read a book

わたしの
おすすめ本

奴隷のしつけ方

著者 マルクス・シドニウス・ファルクス著、
ジェリー・トナー 解説、
橘明美 訳

出版社 太田出版

出版 2015年

ISBN 9784778314750

一瞬ギョッとするようなタイトルですが、専門家が架空のローマ人の口を借りて、奴隷を抱えるローマの主人の考え方をわかりやすく語っています。奴隷制と法学とが関わる話もちらほら出てきます。



Q 研究者ってどんな仕事ですか？



研究者という仕事は、一生をかけて、わからないことを追いかけていくものだと思います。古代・中世・近代と多くの先人たちが積み上げてきたものを参考にしながら、一歩ずつ前に進んでいます。西洋では「巨人の肩の上に立つ」と表現することがあります。

Q 先生ってどんな人？



リフレッシュしたいときには何をしていますか？

地図を片手に散歩に出かけ、目的地もなくウロウロしています。歴史の痕跡を見てもわるのが大好きです。

学生時代で一番の思い出は？

大学近くのラーメン二郎三田本店で大鍋にラーメンを入れてもらい、キャンパスで仲間達とよく食べていました。

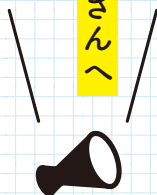
大阪産業大学キャンパスや大学周辺でのおすすめスポットは？

16号館1階の紀伊国屋書店と図書館ですね。本を読んで知識を蓄えることは将来必ず何かの役に立ちます。



トラヤヌス帝 (在位：98年～117年) はローマが最大領土となった時の皇帝です。彼を称えたラテン語の碑文があります。ローマ法の研究者はラテン語の法文史料と格闘する必要があり、文献を読むために他にも多数の西洋言語を学びます。

ひとこと 学生のみなさんへ



何か一つでも興味を持って学べることをさがしてください。そのためには、アンテナを張ることが大事です。日常で目にしたり聞いたりするニュースや新聞、それらの中には皆さんがこれから社会で生きていくのに役立つ知識・知恵が隠さ

れています。そしてたまには他の学生や私をはじめ教員と語り合い議論してください。他の人に説明するときに自分は何がわかっていないかが見えてきます。皆さんとの対話は私にとっても学びの場です。ともに学びましょう。

